

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ計画・設計・施工の最適化 【1】計画・設計の見直し 施策9 】

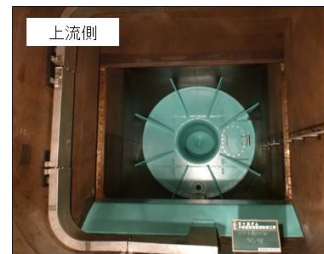
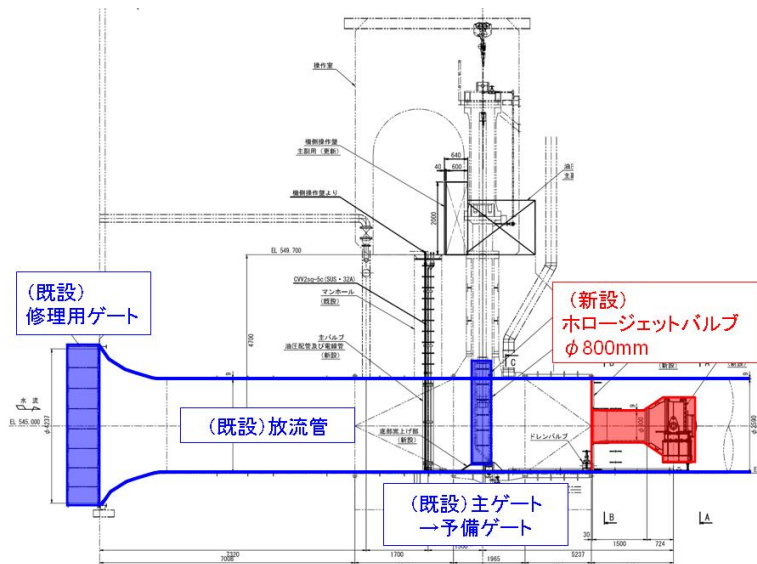
既設放流管を利用することによるコスト縮減

工事名：五十里ダム小容量放流設備改修工事

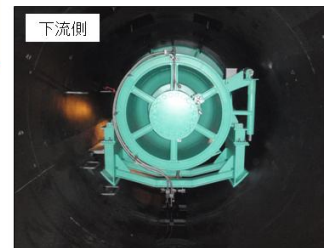
概要：新たに放流設備を設置するにあたって、既設の放流管内部を改修し、放流バルブを設置した。

効果：

- ・ 既設放流管を利用することにより、堤体掘削等の作業が不要となる。
- ・ 工事費を、1,571百万円から156百万円に縮減
(縮減額 1,415百万円 縮減率 約90%)



【従来】
仮締め切り、堤体掘削を
伴う放流管設置



【今回】
既設の放流管を利用

工事制限水位を設け
ることなく施工が可能